



青春不再来

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。
「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

6月・7月は活動充実期 「活動に熱中するときは、燃える夏の心」

校長 大塚 啓



5月に行われた体育祭は爽やかな天候に恵まれ、生徒が持てる力を十二分に発揮して無事終了しました。一大行事を成功させた生徒達は、互いの健闘をたたえ合い、また次の目標に向かって取組を進めています。

学校では、季節ごとに期の目標を定めていますが、6月と7月は活動充実期にあたります。現在の目標がこのタイトルにある「活動に熱中するときは、燃える夏の心」です。ここで言う「活動」とは、主に、日ごろの「部活動」と「授業や家庭学習」、そして、自分が人一倍頑張りたい活動のことを指します。

部活動に所属している生徒は、運動部と文化部合計で約70%程度です。また、全校の約50%は、運動部に所属しています。それぞれの部活動では、対外試合や各種コンクールに参加し、競い合いながら心身を鍛えています。今、運動部では、中学校体育連盟が主催する本大会のシーズンが始まったところですが、猛暑の中でも粘り強く、ひたむきに取り組む柿中生の姿が見られます。勝負に挑みながらも、その中で互いの友情やチームの連帯感をはぐくみ、人間的に大きく成長してほしいと願うばかりです。

一方で、これまで以上に力を入れたいのは「授業や家庭学習」です。学力を高める秘訣は、日常生活改善を図り、計画的な生活習慣を確立することです。行き当たりばったりの生活では、なかなか学力は伸びていきません。このことは、その他の様々な活動でも共通しています。先の日程を見ながら、今、何をしなくてはならないのか、ということをおあらかじめ考えておく必要があるのです。確かに、大会等で忙しい時期はあります。しかし、それはだいぶ前から分かっていたことです。生活設計を誤ってしまうと自分が痛い目にあってしまいます。そうならないために、子どもたちが先を見通して、「部活動」や「授業や家庭学習」、「自分のやりたいこと」などを上手に調整できるよう、大人が支える必要があると思っています。

今後とも、教育活動へのご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いします。

令和6年度 柿崎中学校 体育祭



教育期とは…

学校では、各時期における活動目標や見通しを持って過ごすことができるよう、年間を5つの期に区分しています。今年度は右の掲示物を大廊下前に掲示し、現在地を確認できるようにしています。また、各期の開始時期には、集団、個人それぞれの目標を掲げ、学校生活を送っています。

先を見通すことで、様々な「活動」「行事」「学習」を充実させてほしいと願っています。

4・5月

6・7月

9・10月

11・12月

1～3月

I期 基礎づくり期

人と接するときは温かい春の心

II期 活動充実期

活動に熱中するときは燃える夏の心

III期 行事充実期

行事の築き上げは助け合う人の心

IV期 学習充実期

学習に集中するときは澄んだ秋の心

V期 まとめ・準備期

1年のまとめは自分を見つめ直す冬の心

将来の生き方につながる学びに向けて

コロナ禍後、柿崎中では「地域とともにある学校づくり」に向けた取組を進めています。主に、総合的な学習の時間を活用し、生徒が地域の自然、文化、人に触れることで、それぞれの良さや課題を見出し、生徒一人一人が自分のこれからの生き方を考えるきっかけとなることを期待しています。

1年生 地域を知り、地域に学ぼう ～「柿崎のいいところ、すごい人」を伝え合う～

1年生は小学校での地域学習の成果をもとに、柿崎区のイメージを出し合いました。柿崎といえば…?というお題に対して「空気がきれい」「米山」「近くに山と海がある」など、自然の豊かさを肯定的にとらえたものが多くありました。また、お祭りの楽しさや地域との交流の良さに関する意見もあがりました。地域が担っている教育的役割の大きさに驚かされます。

1年生からあがった「柿崎のいいところ、すごい人」

柿崎お引き上げ
お年寄りから子どもまで楽しめる。

柿崎 影家
柿崎の武士で、城の跡もある。

柿崎海岸
みんなが仲良く楽しめる。

山菜
都会にはない山菜やたくさんの種類がある。

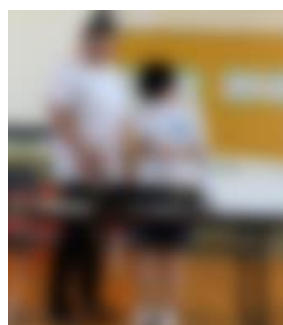
柿崎は米やお酒などおいしいものがたくさんある。

フレンドリーに地域の人が接してくれる。

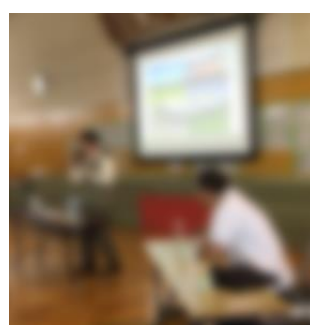
2年生 「地域と働く 地域で働く」 ～地域の大人の生き様に触れる講話の実施～

6月6日(木)「上越料理と地酒の民宿 わすけ」の佐藤 はじめ 様と元地域おこし協力隊の筒井 惇貴 様からお越しいただき、講話をいただきました。佐藤様からは、上越の自然、水、食材、米などの魅力を、筒井様からは、柿崎区への移住までの経歴や地域おこし協力隊のやりがいを語っていただきました。

お二人の話の中には「柿崎のよさ」や「仕事のやりがい」について考える視点が数多く、生徒は、真剣に話に聞き入っていました。



佐藤はじめ 様による
実演を交えた講話



筒井惇貴 様による
思いのこもった講話

3年生 修学旅行に向けて ～3年生の良さと課題を手掛かりに修学旅行を考える～

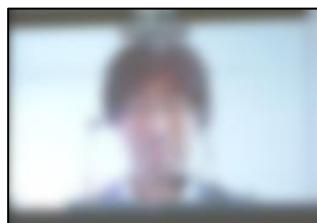
3年生は、9月に奈良、京都への修学旅行に出かけます。そこで3年生は、3年生の集団としての良さや課題を出し合い、それを踏まえて、どんな修学旅行にしたいかを考えました。その後、「悔いのないような旅行にしよう」という決意のもと、修学旅行の準備に取り掛かりました。

5月29日(水)には 京都在住で京都おもてなし観光大使を務める鳥井光広さんからオンライン上で、京都の魅力等について教えていただきました。地元民しか知り得ない京都の良さを伝えることで地域を活性化しようという鳥井さんの姿勢に学ぶべきこともあったようです。

＜良いところ＞
・全体的に仲が良い
・誰とでもコミュニケーションがとれる
・思いやりがある

＜課題＞
・メリハリがついていない
・計画性があまりない

いいところ 課題
・盛り上げ手・特定の人としか話さない
・元気・静かにできない
・人の中に入らない・メリハリ



鳥井さんによるオンライン講話

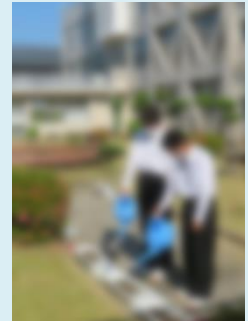


真剣に話を聞き、メモをとる生徒

生徒会活動に関するご報告

○5月15日～17日にかけて生徒会が実施した緑の募金では、14,693 円 の寄付をいただきましたことをご報告します。なお、寄付金は、森林整備等の推進に活用されることになります。ご協力、ありがとうございました。

※ 現在、緑の募金への協力により学校に寄付された花の種を学級毎に栽培しています。上越市から提供していただいたプランターを活用し、校内の緑化運動に力を注いでいます。毎朝、当番が欠かさず水をやり、植物の成長を楽しんでいます。



○ 昨年度、地域の方が来校され、「個人的にベルマーク収集をしてきたが、それなりに貯まったので…」とたくさんのベルマークを持ってきてくださいました。この話を聞いた生徒が、「私たちも学校でベルマークを回収したらどうだろう」と意欲を示した



ことから、今年度、ベルマーク回収を行うこととなりました。地域の方の心遣いをきっかけに始まったベルマーク回収へのご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様へ ～保護者連絡システムの利用に関するお願い～

今年度、保護者連絡システムを用いて、すべての保護者の方に情報配信をいたしました。今年度、一度も中学校からの情報が配信されていないという方は、中学校 教頭（536-2496）までご連絡をお願いします。

なお、配信後、「未開封」の方もいらっしゃるようです。受信されたことを通知する方法を「アプリのみ」から「アプリとメール」に設定を変更することで、配信に気付きやすくなります。設定の変更方法は以下の通りです。

5. メールで連絡を受け取る設定方法

1. アプリ内の左上のメニューアイコンをタップしてください。
2. 画面左からスライドして表示されるメニュー内から「アカウント」のメニューをタップしてください。
3. アカウント設定画面内の「連絡受信」の設定を「アプリとメール」に設定すると、アプリに加え、メールでも連絡を受信できるようになります。
※デフォルトは「アプリのみ」の設定になっております。